



nom et prénom français 男の子はみんなパトリック



フランス人のなまえぐつぐつ



フランスの姓

フランスは夫婦別姓の国。1794年に「フランス国民は、婚姻に関わらず、出生記録の姓を使いづける」と法律に定められたからです。

ただし、それまでの伝統なども考慮し、希望者は、配偶者の姓へ「法的に改名」もできるよう、法律が修正されました。

子供の姓はどうなるのか？という、基本的に父姓を名乗るきまりです。ただし2002年からは母姓を選ぶこともできるようになりました。夫婦の平等を意識した法律改革があったためです。

また日常生活では、夫婦の姓を組み合わせた「連記姓」を、親も子供も使ったりします。この「連記姓」の制度を法的に認めるよう主張する人たちがいますが、連記姓をもつ子供どうしが、結婚するとすっごい長い姓になっちゃいますよね？

たとえばマリー・レイ=マルタンと、ジャン・プティ=ベルナルが結婚したら...いや、そのまた孫が生まれたら...!?



フランスの名前

つい最近までは、フランスでは、自由な名をつけることはできませんでした。聖人の名か、歴史上の偉人の名か、前例のある名から選ぶしかなかったのです。しかし1993年に法律が変わり、両親が自由に名をつけられるようになりました。ただしあまりにおかしい名前の場合は、拒否されます

男の子？女の子？

男女どちらにも使える名前が、少しだけあります。Claude(クロード), Dominique(ドミニク)など

また、男女のバージョンが存在する名前も多くあります。Jacques(ジャック)/Jacqueline(ジャクリヌ), Joël(ジョエル)/Joëlle(ジョエール), François(フランソワ)/Françoise(フランソワーズ), Jean(ジャン)/Jeanne(ジャンヌ) などなど...

良家のおぼっちゃまは？

フランスの姓で、de(ドゥ=英語のoにあたる前置詞)がつくものは由緒ある家柄の姓とされています。元大統領 Charles de Gaulle(シャルル・ド・ゴール)もその一例です

名に関しても、良家の子供は歴史上の人物の、たとえば Louis(ルイ), Charles(シャルル), Edouard(エドワール)などをつけることが多く、一方で中産階級はスターやスポーツ選手の名前をつけることが多いそうです

はやりの名前

たとえば2001年の名前トップ5

女の子

1. Léa (レア)
 2. Manon (マノン)
 3. Chloé (クロエ)
 4. Camille (カミーユ)
 5. Emma (エマ)
- 他にオセアヌ、マリー、サラ、ローラ、クララ...が続きます



男の子

1. Thomas (トマ)
 2. Lucas (ルカ :Luのスペイン語版)
 3. Théo (テオ)
 4. Hugo (ユーゴ)
 5. Maxime (マキシム)
- 他にアントワーン、ニコラ、クエンタン、クレモン、アレキサンドル...が続きます

30年前はというと...

女の子は、ナタリー、サンドリン、イザベル、ヴァレリー、クリステル。男の子はステファン、クリストフ、ローラン、デヴィッド、オリヴィエ。トップ5が全部ちがいますね！

60年前はどうでしょう。

女の子は、マリーがだんとう。モニク、ニコル、ジャクリン、フランソワーズがつづきます。男の子は、ジャン、ミッシェル、クロード、アンドレ、ジャック。トップ5は、どれも定番ですね！

フランスに多い姓

2000年の資料によると、フランスには25万種類の姓が存在します。そのうちわずが6~7000種(全体の3%)の姓は、数千家族が同姓であり、比較的好く見る姓です。一方で、フランス全体でも300家族以下しか存在しないような、いわゆる「珍しい姓」が全体の85%近くを占め、その大半は22世紀には消えてしまっただろうと言われていています

最も多い姓はMartin(マルタン)です。続いて Petit(プティ)や Dupont(デュボン), Dubois(デュボワ), Miché(ミシェル), Laurent(ローラン), Bernard(ベルナル), Moreau(モロー), Simon(シモン)なども多い姓です。

姓名はどちらが先？

姓を nom(ノン) または nom de famille(ノンドゥファミーユ), 名を prénom(プレノン) といいます。通常は英語のように、名 姓の順ですが、Monsieur, Madame, Mademoiselleなどの敬称を頭につける場合は、姓 名の順にも使います

男の子はみんなパトリック？

フランスの古い映画のクレジットを見ていると、ジャン、ピエール、パトリック、フランソワ、そしてまたジャン... というほど、みんなほとんど同じ名前です

知り合いの話では、ロシア映画のクレジットもおもしろいそうです。イワン、イワン、イワン...。イワンだらけなのです

以前いた語学学校には、たくさんのアラブ人(男の子ばかり)がいましたが、ほとんどがモハメッドという名だったので、みんなは勝手に「大きいモハメッド」「メガネのモハメッド」などとあだ名をつけて区別していました。

法律や伝統のちがいもあるでしょうけれど、日本では、音も漢字も工夫できるため、名のバリエーションが作りやすいですね。でも日本のような例は特殊なのかもしれません